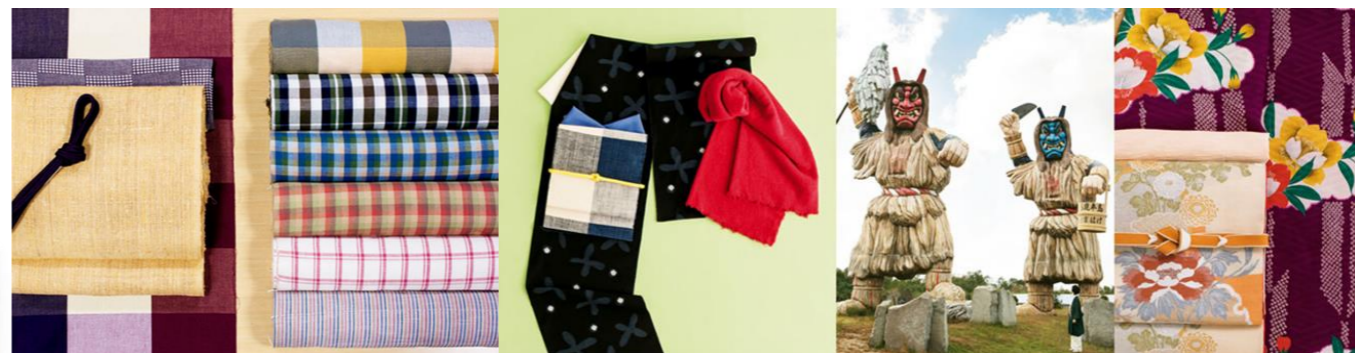


メルヘンハウス通信



今月の和とく情報

長襦袢の間違い



着物を着る時には必ず長襦袢を下に着ますが、この長襦袢の決まり事について着付けの仕事に従事されている方の話から、以前は常識だったことが現在では忘れられてしまっている事が出てきています。

これからの和とくポイント

長襦袢と着物の関係



結婚式場などで、黒留袖や色留袖を着られるご親族やお仲人の方が、長襦袢を一緒にお持ちになる時に、色のある長襦袢を持っていらっしゃいます。

着付ける側は唖然として「式服には白の長襦袢なのですが、、、」と申し上げると、知らなかったと驚くより「それでよいですから」とおっしゃるので、仕方なく色の付いた襦袢を留袖の下に着せなくてはならないハメになったというお話がありました。たぶん家には白の長襦袢をお持ちなのかもしれませんが、襦袢なら何でも良いと思われている事も考えられます。こんな事は、少し前なら考えもしなかったことで着せる側も恥ずかしい思いをするそうです。式服をお召しになる方はミセスが多いはず。

黒留袖をお召しになるのは新郎新婦のお母様か身内のミセスか、お仲人婦人です。

既に社会的な常識を踏まえておられる年代ですから、着物と長襦袢の関係について表に見えないものでも基本に準じて考え判断できます。

長襦袢と着物の関係について、どの着物にどんな長襦袢を合わせるのか再認識する必要があります。

着物が夏物になれば当然、長襦袢の素材も夏物に準じて行きます。

極基本的な事を踏まえていろいろバリエーションを楽しんでみて下さい。

長襦袢は下着と考え1枚だけで間に合わせれば傷みも汚れもします。

洋服の下のファンデーション1枚を、どれにも間に合わせる方はいないでしょう。何枚か物に合わせて持つものです。

そしてもう1つは、着物と長襦袢の袖丈はぴったりと合わせておくことも大切なことです。

今日もきもの気分

やしま呉服店からのお知らせ

2月の催事・イベント

- ◎創業72周年記念祭...9日(金)~12日(月)
- ◎ポーセラーツ教室...15日(木)
- ◎知ットコ講座...24日(土)25日(日)

知ットコ 講演会
きもの文化を
もっともっと
知ってもらいたい



※各詳細のお問い合わせはお店まで
◎HP: <http://www.yashima-gofuku.co.jp/>

さくらきもの学院

春期募集開始します!
着物を自分で着るには今がチャンス♪

今!全国で一番喜ばれている、前結び着付け教室

高岡教室 受講生募集中
高波教室
小矢部教室

全10回受講料+前結び用前板+修了証付き

なんと!今だけ! 7,300円 (税込)

◎HP: <http://jtti.jp/sakurawasou/>
◎Fb: <https://www.facebook.com/sakurawasou/>

※レッスンのお申込受付ます♪

- ・マンツーマンレッスン: 初等科6回
- ・マイアップレッスン: 10,000円/10回
- ・1dayレッスン: 500円/回

※詳細はさくらきもの学院事務局まで



By: お藤